

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成31年3月14日 (2019.3.14)

【公表番号】特表2018-503548(P2018-503548A)

【公表日】平成30年2月8日 (2018.2.8)

【年通号数】公開・登録公報2018-005

【出願番号】特願2017-555430(P2017-555430)

【国際特許分類】

B 3 2 B 3/24 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 3/24 Z

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月29日 (2019.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の孔隙率を規定する複数の第 1 の開口を第 1 のパターンで規定した第 1 のシートと、
第 2 の孔隙率を規定する複数の第 2 の開口を第 2 のパターンで規定した第 2 のシートと、
を備え、

前記第 2 のシートが、前記複数の第 2 の開口が前記複数の第 1 の開口を少なくとも部分的に塞ぐことにより、前記第 1 の孔隙率または前記第 2 の孔隙率よりも小さな第 3 の孔隙率を規定する複数の第 3 の開口を第 3 のパターンで規定するように、前記第 1 のシートを覆っており、

前記第 2 のシートが、複数の異なる接続要素によって前記第 1 のシートに接続されていることを特徴とするオーセチック構造。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のオーセチック構造であって、前記複数の第 1 の開口が、短軸に垂直な長軸を有する細長開口を含むことを特徴とするオーセチック構造。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のオーセチック構造であって、前記複数の第 2 の開口が、短軸に垂直な長軸を有する細長開口を含むことを特徴とするオーセチック構造。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のオーセチック構造であって、前記第 1 のパターンおよび前記第 2 のパターンが、複数行の前記細長開口を含み、各行の細長開口は、前記行に沿って前記長軸および前記短軸が交互に配設されていることを特徴とするオーセチック構造。

【請求項 5】

請求項 4 に記載のオーセチック構造であって、前記第 1 の孔隙率および前記第 2 の孔隙率が少なくとも実質的に同じであることを特徴とするオーセチック構造。

【請求項 6】

請求項 3 に記載のオーセチック構造であって、前記第 1 の開口のアスペクト比と前記第 2 の開口のアスペクト比とが等しいことを特徴とするオーセチック構造。

【請求項 7】

請求項 1 に記載のオーセチック構造であって、前記第 1 の開口が、S 字状の貫通スロットを含むことを特徴とするオーセチック構造。

【請求項 8】

請求項 6 に記載のオーセチック構造であって、前記第 2 の開口が、S 字状の貫通スロットを含むことを特徴とするオーセチック構造。

【請求項 9】

請求項 1 に記載のオーセチック構造であって、前記複数の第 2 の開口が、前記複数の第 1 の開口の面積の少なくとも 50 % を塞ぐことを特徴とするオーセチック構造。

【請求項 10】

請求項 1 に記載のオーセチック構造であって、前記複数の異なる接続要素が、前記第 1 のシートおよび前記第 2 のシートの単位セルの重なり合った中心点に配設されたピンまたはリベットを含んでおり、荷重下での前記第 1 のシートの前記単位セルおよび前記第 2 のシートの前記単位セルの回転方向が、反対方向であることを特徴とするオーセチック構造。

【請求項 11】

請求項 1 に記載のオーセチック構造であって、前記複数の異なる接続要素が、前記第 1 のシートおよび前記第 2 のシートの単位セルの重なり合った中心点に配設された接合部を含んでおり、荷重下での前記第 1 のシートおよび前記第 2 のシートの前記単位セルの回転方向が、同じ方向であることを特徴とするオーセチック構造。

【請求項 12】

請求項 1 に記載のオーセチック構造であって、前記第 1 のシートおよび前記第 2 のシートがそれぞれ、金属製シートを含むことを特徴とするオーセチック構造。

【請求項 13】

請求項 1 に記載のオーセチック構造であって、前記第 1 のシートおよび前記第 2 のシートの構成が同じであることを特徴とするオーセチック構造。